

平成30年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告

区市町村名 青ヶ島村

学校名 青ヶ島村立青ヶ島小学校

1 事業目的 協議会名 青ヶ島小中学校校庭芝生化推進協議会

学校と地域が連携・協働した芝生の維持・管理及び活用等の仕組みづくりを推進することを通して、子供の心身の成長・発達や地域の教育力向上を目指す。

2 主な取組と成果

学校と地域が連携して行う、年間を通じた校庭緑化が定着してきたことで、青ヶ島村民の理解が進み、村民が学校に対してより協力的になったので、全村民の6割以上の参加のもと、村民による校庭播種を実施できた。

学校の部活の時間だけでなく、地域のサッカークラブの練習後にも、土壌整備や播種、除草の活動を定期的に実施してもらうようになり、地域と協働した活動を更に進めることができた。

学校の児童・生徒に対しても、その日に行う作業の理由や目的をしっかりと説明したことで、目的意識をもって作業に取り組むことができ、作業日でなくとも芝に配慮が見られるようになった。

学校内では、芝生の担当者でなくとも、意欲的に作業に加わる職員の数が増え、校庭芝生化の作業スキルが向上している。

3 具体内容

「冬に向けてみんなで種まき！」

- ・平成30年9月16日(日)
- ・参加者125名  
(うち小中学生児童生徒11名 学校教職員22名)
- ・運動会の閉会式後のイベントとして、参加者全員で冬芝の播種を実施。



「サッカー愛好者による校庭整備」

- ・通年(写真の日は7月)
- ・15名ほど
- ・校庭整備(砂まき・種まき・砂ならし等)  
(青ヶ島中学校サッカー部＋スール青小サッカークラブ  
(青ヶ島のフットサルチーム)＋学校職員・地域のサッカー指導者・愛好者)

「子供たちによる芝生づくりと補植・手入れ」

- ・通年
- ・29名(児童5名 生徒6名 教員18名)
- ・ポット苗・プランター苗を作り補植、エアレーション、草取り
- ・作業の理由などをしっかりと説明した上で、子供も目的意識をもって取り組む。

4 今後について

・1日の中でも天気の変動があり、天気を予測することが難しい。芝刈り・補植など、複数の人数で一斉に作業をしたいときなど、日程を合せても実施できない日が多かった。事前に綿密な計画を立て、共通理解を図り、当日の天気を見て、臨機応変に対応できる体制を作っていきたい。

・上記のように作業時間を共有できる場面が少なく、時間的に余裕があったり経験があったりする一部のメンバーで作業が進んでしまい、後進への引継ぎを計画的に行っていく必要がある。

・補植に必要なポット苗づくりの作業工程を見直し、本校に適合した有効な方法を見つけ出した。より効率的で確実な方法を確立していきたい。

